

ホームページ掲載内容

当院では、以下の後方視点的研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究を行う場合は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要されております。

同意の取得について：

研究に利用する患者さんの個人情報、匿名化し個人を特定できる情報は含みません。1年後の生存率について受診がない場合は、電話または口頭で確認を行います。その際、受けた同意の内容に関する記録を作成いたします（同意の日時、説明方法、説明者、同意事項などを記載）。

以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。研究拒否できる機会が保障されております。これに関して患者さんに対して不利益になる事はございません。

研究課題名：

日本におけるノカルジア症の臨床的疫学と感受性に関する後方視点的研究

当院研究責任者：

順天堂大学医学部附属浦安病院呼吸器内科・先任准教授 佐々木 信一

研究の意義と目的：

ノカルジアは土中などにいる糸状の菌であり、慢性肝疾患、悪性腫瘍の方や、免疫抑制剤を使用している方、高齢で免疫が低下している方などに対して死亡に至る重度の感染症を引き起こす危険があるものです。

日本でノカルジア菌の有無や危険性の程度を判断する最大の機関のひとつは千葉大学真菌医学研究センターであるため、全国各病院が千葉大学真菌医学研究センターに依頼し、千葉大学真菌医学研究センターが一定のノカルジア菌があると判断した患者さんの患者情報、診断過程、治療経過をカルテから得てデータベースを構築することにより、ノカルジア症の発生原因や予防などを明らかにすることになり、当院もこの研究に参加したいと思います。

研究実施期間：

倫理委員会承認日から2018年12月31日までとする。

研究方法：

2010年から2017年の間にノカルジア症と診断され、順天堂大学浦安病院を受診した患者13名（研究全体では60名）が対象となります。

当院から千葉大学真菌医学研究センターへノカルジア症と判断した患者さんの患者情報、診断過程、治療経過をカルテから得て、データコレクションフォ

ームに記載し、この段階で患者さんが特定される情報は削除され、匿名化されます。データは本研究の共同研究施設である多摩総合医療センター感染症科に送付します。なお、菌の細かい菌名や感受性は千葉大学真菌医学研究センターからデータ供与されます。多摩総合医療センター感染症科にてデータベースを構築し、解析を行います。

当施設からは、呼吸器内科佐々木信一が施設責任者として参加します。

なお 1 年後の生存率について受診がない場合は、電話で問い合わせを行います。電話連絡は、施設責任者である佐々木信一が行います。

研究体制：

【研究主任機関】

千葉大学真菌医学研究センター
東京都立多摩総合医療センター

【主任研究者】

東京都立多摩総合医療センター感染症科 本田 仁

【主任研究員】

千葉大学真菌医学研究センター 矢口 貴志、渡邊 哲
東京都立多摩総合医療センター感染症科 田頭 保彰、高松 茜

個人情報の保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

利益相反について：

本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

お問い合わせ先：

〒279-0021 千葉県浦安市富岡 2-1-1
順天堂大学医学部附属浦安病院
感染対策室：047-353-3111（内線 2110）
研究担当者：佐々木 信一